

救急・救助

救 急 業 務 の 概 要

救急業務は、昭和 38 年に消防機関の業務として法制化されたところであるが、本市においては昭和 33 年から救急業務を開始しており 58 年が経過している。

この間、社会環境の著しい進展と多岐にわたる消防行政の中で救急業務の占める割合は極めて重要なものとなり、今日では地域住民の日常生活にとって不可欠な業務として定着している。

このような中、平成 3 年 4 月に「救急救命士法」が制定、救急隊員の行う応急処置が拡大し、平成 13 年には、救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置の質を保障する体制であるメディカルコントロール体制構築が総務省消防庁から通知され、平成 14 年 12 月には総務省消防庁と厚生労働省の合同検討会である「救急救命士の業務のあり方等に関する検討会」報告書により、包括的指示下での除細動及び気管挿管の実施が認められた。この報告書の発出に伴い、厚生労働省令施行規則が改正され、平成 15 年 4 月 1 日からは包括的指示下での除細動の実施が、平成 16 年 7 月 1 日からは気管挿管の実施が可能となった。さらに平成 18 年 4 月 1 日からは薬剤投与の実施が、平成 26 年 4 月 1 日からは心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与が可能となった。

このような情勢に対応するため、本市においては、高規格救急自動車の整備、救急救命士の養成をはじめ、住民に対する応急手当の普及啓発等を推進するとともに、平成 7 年 10 月には救急ワークステーションを市立札幌病院の敷地内に開設するなど、救急隊員の教育訓練の充実、医療機関との連携強化を図り、市民生活の安全確保に努めている。

平成 27 年中における救急自動車による救急活動概要は次のとおりである。

1. 出 動 件 数

- (1) 平成 27 年中の出動件数は、88,507 件で前年比 345 件の増加、これはおよそ 5.9 分ごとに 1 回出動し、市民 21.9 人に 1 回の割合で救急車を要請したことになる。
- (2) 1 日平均出動件数は 242 件で、1 日最高 334 件（12 月 29 日、火曜日）となっている。
- (3) 各行政区別救急事故発生状況は、中央区（16,467 件）、次いで北区（11,945 件）、東区（11,924 件）の順である。
- (4) 署別出動件数では、中央署（14,436 件）が最も多く、次いで東署（12,735 件）、北署（10,656 件）の順である。
- (5) 隊別では、中央救急隊（4,574 件）、次いで豊水救急隊（4,199 件）、北救急隊（3,876 件）の順に多く、1 隊平均では 2,829 件である。
- (6) 月別では、平均 7,376 件であり、最高が 12 月（8,028 件）、次いで 1 月（7,990 件）、8 月（7,816 件）の順である。
- (7) 曜日別では、月曜日（13,117 件）が最も多く、次いで日曜日（12,891 件）、土曜日（12,711 件）となっている。
- (8) 時間帯では、10 時台が（5,151 件）で最も多く、次いで 9 時台（5,051 件）、11 時台（4,733 件）の順となっている。

2. 事 故 種 別

- (1) 急病は 56,083 件で前年比 1,606 件の増、全出動件数に占める割合は 63.4%で前年より 1.6 ポイントの増となり、月平均 4,674 件の出動となっている。
- (2) 交通事故は 4,352 件で前年比 200 件の減で、7 月から 10 月の 4 か月間が比較的多く発生している。
- (3) その他の事故は、11,854 件で前年比 700 件の減、そのうち主なものは転院搬送の 7,997 件で、その他の事故

全体の 67.5%を占めている。

3. 搬送人員等

- (1) 搬送人員は、76,634人(前年75,831人)で前年比803人(1.1%)の増加、これは市民25.3人に1人の割合で、救急車によって医療機関に搬送されたことになる。
- (2) 性別では、男性が36,265人(47.3%)、女性が40,369人(52.7%)で、労働災害、運動競技に男性が多く、自損行為に女性が多く見られる。
- (3) 傷病程度では、死亡1,125人(1.5%)、重症2,645人(3.5%)、中等症31,992人(41.7%)、軽症40,849人(53.3%)、その他23人(0.03%)となっている。
- (4) 診療科目別では、内科系24,084人(31.4%)、脳神経外科系17,985人(23.5%)、整形外科系11,218人(14.6%)、小児科系3,822人(5.0%)、外科系2,122人(2.8%)となっている。
- (5) 救急告示医療機関には、61,534人(80.3%)が搬送されている。
- (6) 夜間急病センターには3,576人(4.7%)が搬送され、前年比108人の減となっている。
- (7) 医療機関別搬送状況は、国・公立7,315人(9.5%)、公的1,159人(1.5%)、私的68,124人(88.9%)、その他の場所へ36人(0.05%)が搬送されている。
- (8) 救急業務のための所要時間及び走行距離の状況は、119番通報から出動まで平均1.0分、出動から現場まで平均6.5分(119番通報から現場まで平均7.5分)、2.3km、現場から医療機関まで平均29.1分(現場活動時間18.3分を含む)、5.8kmを要している。
- (9) 救急隊が行った応急処置(観察含む)は、329,359回で救急出動1件につき3.7回実施していることになり、主に血中酸素飽和度測定、血圧測定、心音・呼吸音等の聴診、心電図測定等の観察、酸素吸入、固定、被覆等の処置が多い。

4. 応急手当の普及啓発実施状況

市民に対する応急手当の指導については、従前各消防機関で独自の内容で実施していたが、消防庁から「応急手当の普及啓発活動の推進に関する要綱」(平成5年3月制定)が示され、指導内容等が全国統一された。

当局においては同要綱に基づき、市民に広く応急手当の技術と知識を普及するため、(公財)札幌市防災協会(平成6年4月設立)と連携し、応急手当に関する各種講習(普及講習という。)を実施している。

また、一般市民にもAED(自動体外式除細動器)の使用が認められたことにより、平成17年4月1日からAEDを取り入れた応急手当の講習を実施している。

- (1) 平成27年中の普及講習は、1,424回実施し、33,207人が受講した。
- (2) 実施回数のうち、651回(45.7%)、14,404人(43.4%)を(公財)札幌市防災協会が実施した。
- (3) 受講者の区分は、学校関係が13,717人(41.3%)、事業所等が13,219人(39.8%)、町内会等が1,874人(5.6%)の順である。

救急業務状況 (平成27年中)

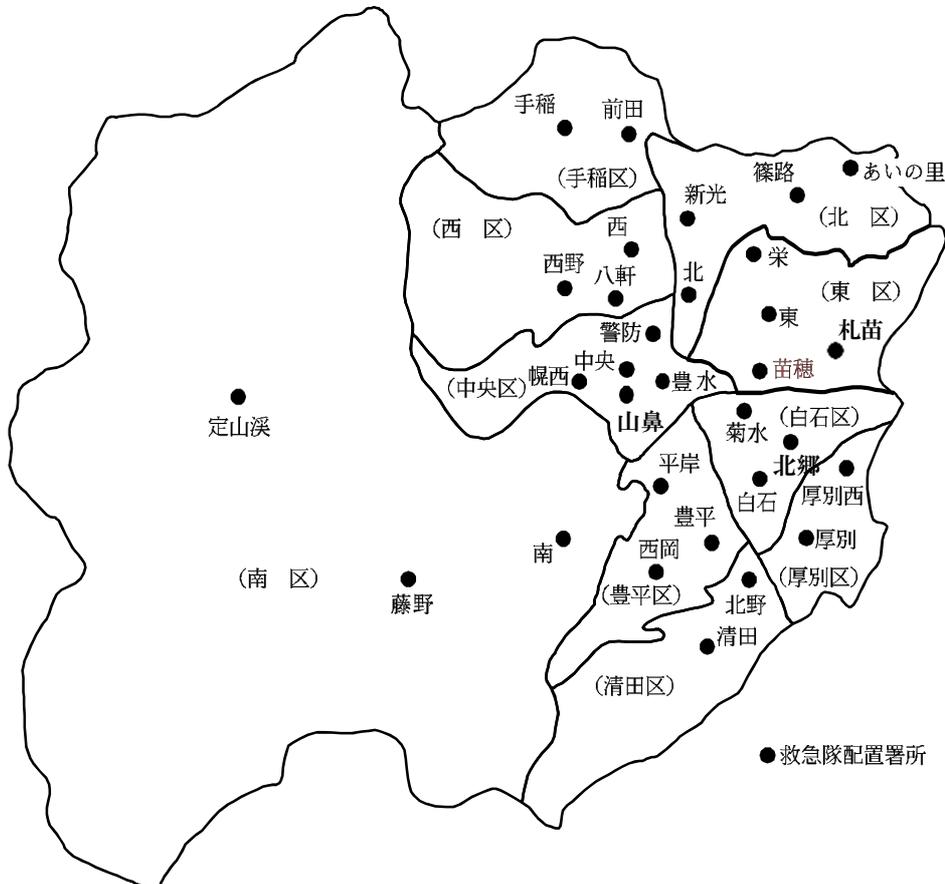
種 別	平成27年	1日平均	1隊平均	前年(26年)	前年比増加率(%)
出 動 件 数	88,507	242.5	2,828.9	88,162	0.4
出 動 人 員	277,803	761.1	8,961.4	275,348	0.9
傷 病 者 搬 送 件 数	76,173	208.7	2,436.1	75,297	1.2
傷 病 者 不 搬 送 件 数	12,334	33.8	392.8	12,865	△4.1
うち医師等搬送件数	1,042	2.9	-	938	11.1
搬 送 人 員	76,634	210.0	2,451.0	75,831	1.1
走 行 距 離 (km)	1,113,976	3,052.0	35,701.1	1,118,615	△0.4
所 要 時 間 (分)	5,300,061	14,520.7	169,517.4	5,254,276	0.9

救急業務の推移 (過去5年間)

(単位：件、人)

年別	総数	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般負傷	加害	自損	急病	その他	
出動件数	23	79,247	511	-	13	4,668	472	389	11,040	493	1,714	48,895	11,052
	24	83,277	501	2	10	4,531	556	392	11,873	531	1,624	51,539	11,718
	25	85,707	413	6	14	4,591	581	360	12,525	546	1,468	53,098	12,105
	26	88,162	460	-	23	4,552	575	443	13,169	528	1,381	54,477	12,554
	27	88,507	475	16	7	4,352	524	407	13,001	537	1,251	56,083	11,854
搬送件数	23	69,294	88	-	2	4,173	459	377	10,120	391	1,327	44,663	7,694
	24	71,931	98	2	-	3,987	534	386	10,784	419	1,262	46,558	7,901
	25	73,338	69	2	4	3,985	565	352	11,326	415	1,106	47,457	8,057
	26	75,297	79	-	3	3,925	559	431	11,877	372	1,058	48,645	8,348
	27	76,173	93	14	1	3,746	516	400	11,751	375	956	50,344	7,977
不搬送件数	23	9,953	423	-	11	495	13	12	920	102	387	4,232	3,358
	24	11,346	403	-	10	544	22	6	1,089	112	362	4,981	3,817
	25	12,369	344	4	10	606	16	8	1,199	131	362	5,641	4,048
	26	12,865	381	-	20	627	16	12	1,292	156	323	5,832	4,206
	27	12,334	382	2	6	606	8	7	1,250	162	295	5,739	3,877
搬送人員	23	69,843	108	-	3	4,592	460	380	10,147	399	1,328	44,722	7,704
	24	72,500	118	2	-	4,381	534	391	10,817	431	1,264	46,649	7,913
	25	73,850	76	2	4	4,368	567	354	11,357	422	1,107	47,527	8,066
	26	75,831	87	-	3	4,341	562	437	11,906	382	1,058	48,699	8,356
	27	76,634	102	14	1	4,073	518	401	11,780	381	957	50,424	7,983

救急隊配置状況 (平成28年4月1日現在)



行政区別救急出動状況 (平成27年中)

(単位：件)

行政区	総 数	火 災	自然 災害 事故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他
総 数	88,507	475	16	7	4,352	524	407	13,001	537	1,251	56,083	11,854

行 政 区

中央区	16,467	79	1	2	771	122	49	2,410	168	210	9,353	3,302
北区	11,945	81	-	1	654	60	59	1,852	51	171	7,906	1,110
東区	11,924	69	2	-	619	73	52	1,588	63	187	7,419	1,852
白石区	9,886	61	3	3	467	55	42	1,262	70	153	6,490	1,280
厚別区	5,581	28	2	-	230	29	29	847	19	57	3,579	761
豊平区	8,923	35	1	-	422	35	62	1,352	39	142	5,899	936
清田区	3,694	15	-	-	233	21	26	541	23	37	2,429	369
南区	6,365	24	4	1	292	31	36	1,085	32	80	4,100	680
西区	8,827	56	1	-	384	60	27	1,331	51	135	5,686	1,096
手稲区	4,867	27	2	-	270	38	25	731	21	75	3,215	463
市外	28	-	-	-	10	-	-	2	-	4	7	5

月 別

1月	7,990	43	1	-	217	35	23	1,336	43	104	5,143	1,045
2月	6,407	55	1	-	204	47	30	1,024	37	67	4,072	870
3月	7,106	35	1	-	263	50	23	989	37	121	4,602	985
4月	7,058	53	-	-	354	33	23	1,023	38	101	4,454	979
5月	7,437	44	-	3	389	42	57	975	47	110	4,765	1,005
6月	7,031	36	-	-	396	48	37	893	51	119	4,452	999
7月	7,762	33	-	2	436	41	51	1,073	42	122	4,939	1,023
8月	7,816	29	-	1	431	44	41	1,038	67	105	4,972	1,088
9月	7,157	25	-	-	431	46	39	1,002	35	101	4,510	968
10月	7,698	39	13	-	506	49	34	1,139	48	109	4,767	994
11月	7,017	35	-	-	401	52	25	1,024	34	103	4,437	906
12月	8,028	48	-	1	324	37	24	1,485	58	89	4,970	992

曜 日 別

日曜	12,891	96	-	3	548	49	125	1,996	103	173	8,490	1,308
月曜	13,117	81	1	1	651	90	27	1,815	51	195	8,313	1,892
火曜	12,372	67	-	1	618	88	42	1,825	67	175	7,687	1,802
水曜	12,289	51	2	-	619	70	42	1,791	76	184	7,706	1,748
木曜	12,526	52	9	-	608	88	37	1,790	76	197	7,926	1,743
金曜	12,601	52	4	1	663	68	40	1,774	68	171	7,931	1,829
土曜	12,711	76	-	1	645	71	94	2,010	96	156	8,030	1,532

救急隊別出動状況（平成27年中）

（単位：件、人）

隊	総出動件数に対する比率	総 数	搬送件数	搬送人員
総 数	100%	88,507	76,173	76,634
局 計	3.7%	3,293	2,243	2,263
警 防	3.7%	3,293	2,243	2,263
中央署計	16.3%	14,436	11,751	11,804
中 央	5.2%	4,574	3,601	3,618
豊 水	4.7%	4,199	3,367	3,385
幌 西	3.6%	3,171	2,670	2,680
山 鼻	2.8%	2,492	2,113	2,121
北署計	12.0%	10,656	9,426	9,497
北	4.4%	3,876	3,228	3,252
篠 路	2.7%	2,399	2,225	2,245
新 光	3.4%	3,034	2,737	2,757
あいの里	1.5%	1,347	1,236	1,243
東署計	14.4%	12,735	11,144	11,220
東	4.1%	3,656	3,272	3,292
栄	3.7%	3,289	2,882	2,900
札 苗	2.8%	2,491	2,256	2,272
苗 穂	3.7%	3,299	2,734	2,756
白石署計	10.2%	8,998	7,791	7,834
白 石	3.8%	3,397	2,894	2,908
菊 水	3.4%	2,972	2,572	2,587
北 郷	3.0%	2,629	2,325	2,339
厚別署計	5.6%	4,969	4,310	4,332
厚 別	3.4%	2,986	2,552	2,563
厚別西	2.2%	1,983	1,758	1,769
豊平署計	9.8%	8,717	7,646	7,686
豊 平	3.5%	3,111	2,747	2,768
西 岡	2.7%	2,432	2,169	2,178
平 岸	3.6%	3,174	2,730	2,740
清田署計	6.2%	5,452	4,851	4,882
清 田	2.9%	2,544	2,282	2,295
北 野	3.3%	2,908	2,569	2,587
南署計	5.4%	4,736	4,289	4,321
南	3.1%	2,721	2,445	2,460
定山溪	0.6%	489	435	439
藤 野	1.7%	1,526	1,409	1,422
西署計	11.1%	9,828	8,468	8,509
西	3.7%	3,262	2,878	2,890
八 軒	3.9%	3,428	2,842	2,857
西 野	3.5%	3,138	2,748	2,762
手稲署計	5.3%	4,687	4,254	4,286
手 稲	2.9%	2,563	2,313	2,328
前 田	2.4%	2,124	1,941	1,958

- (注) 1. 総出動件数に対する比率は四捨五入のため、計と総数が合わない場合がある。
 2. 中央救急隊には、平成27年1月1日から3月31日まで及び10月1日から12月31日までの間、運用を行った日勤救急隊に係る出動を含んでいる。

期 間	出動件数	出動→現場		現場活動時間	現場→医療機関		出動→帰署(所)	
		所要時間	走行距離		所要時間	走行距離	所要時間	走行距離
		平均(分)	平均(km)		平均(分)	平均(分)	平均(km)	平均(分)
通 年	88,507	6.5	2.3	18.3	10.8	5.8	59.9	12.6
冬 季	22,425	7.1	2.4	18.6	11.9	6.0	63.1	12.9
夏 季	22,609	6.3	2.3	18.0	10.2	5.6	57.9	12.2

- (注) 1. 走行距離は、四捨五入のため、総数が合わない場合がある。
 2. 冬季～1月、2月、12月、夏季～6月、7月、8月の各3か月間の運用状況である。

時間別救急出動状況 (平成27年中)

(単位：件)

時間別	総 数	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 災	運 動	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他
総数	88,507	475	16	7	4,352	524	407	13,001	537	1,251	56,083	11,854
0	2,810	16	-	-	68	8	3	362	41	52	1,898	362
1	2,339	21	-	-	67	9	-	262	30	46	1,655	249
2	2,093	13	-	-	44	9	1	219	36	46	1,461	264
3	1,856	18	1	-	44	8	-	223	29	35	1,292	206
4	1,729	8	-	1	48	5	-	194	21	29	1,240	183
5	1,854	10	-	-	49	13	1	218	36	35	1,335	157
6	2,548	13	-	2	106	12	8	281	15	41	1,840	230
7	3,321	13	1	-	180	8	-	492	15	45	2,346	221
8	4,334	17	-	-	296	29	6	707	15	40	2,943	281
9	5,051	22	1	1	252	53	20	818	12	38	3,080	754
10	5,151	30	1	-	250	53	49	730	10	53	2,983	992
11	4,733	14	1	-	232	55	44	751	23	50	2,620	943
12	4,697	28	1	1	224	28	41	675	18	61	2,697	923
13	4,543	33	2	1	245	38	36	687	16	42	2,596	847
14	4,397	16	-	1	227	44	41	678	16	64	2,605	705
15	4,187	21	2	-	274	22	24	681	15	65	2,383	700
16	4,301	22	3	-	283	26	19	693	15	53	2,456	731
17	4,614	23	2	-	350	24	30	760	10	69	2,719	627
18	4,685	23	1	-	334	27	23	686	15	72	3,019	485
19	4,459	31	-	-	263	12	11	670	27	66	2,972	407
20	4,161	27	-	-	186	10	20	642	24	56	2,821	375
21	3,918	21	-	-	135	11	14	617	27	71	2,613	409
22	3,534	20	-	-	106	11	10	504	29	65	2,392	397
23	3,192	15	-	-	89	9	6	451	42	57	2,117	406

性別・年齢別搬送状況（平成27年中）

（単位：人）

区分	総数	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般負傷	加害	自損	急病	その他
総数	76,634	102	14	1	4,073	518	401	11,780	381	957	50,424	7,983

性別

男	36,265	48	2	-	2,152	401	304	5,179	205	290	23,713	3,971
女	40,369	54	12	1	1,921	117	97	6,601	176	667	26,711	4,012

年代別

新生児	312	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	279
乳幼児	3,747	1	-	1	134	-	-	891	2	-	2,416	302
少年	2,271	6	-	-	419	5	160	393	23	28	1,082	155
成人	30,136	61	2	-	2,739	453	233	3,257	306	825	19,842	2,418
高齢者	40,168	34	12	-	781	60	8	7,239	50	104	27,051	4,829

- （注）
1. 新生児 生後28日未満の者
 2. 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
 3. 少年 満7歳以上満18歳未満の者
 4. 成人 満18歳以上満65歳未満の者
 5. 高齢者 満65歳以上の者

傷病程度

死亡	1,125	8	-	-	21	6	-	86	1	106	882	15
重症	2,645	20	-	-	87	24	1	235	6	64	1,711	497
中等症	31,992	37	9	-	494	166	105	3,863	34	440	19,818	7,026
軽症	40,849	37	5	1	3,468	322	295	7,590	339	347	28,001	444
その他	23	-	-	-	3	-	-	6	1	-	12	1

事 故 種 別 救 急

事故種別	区 分	
	総 数	
火 災	直接火災に起因したもので、建物火災現場で発生したもの " 建物以外の火災現場で発生したもの	
自然災害	自然現象に起因する災害	
水 難	水泳中の溺者または水中転落等によるもの	
交 通	交通機関相互の衝突、接触によるもの 転落、横転等交通機関の単独の事故によるもの 歩行者と交通機関との衝突によるもの 交通機関の事故で前各号に該当しないもの	
労 災	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した転落事故 " " 感電事故 " " ガス類中毒事故 " " はさまれ事故 " " 前各号以外の事故	
運 動	組織的運動競技中発生した運動競技を実施した者の事故 " " の審判員及び関係者の事故 観覧中の者が直接に運動競技用具等によって負傷したもの 運動競技を目的とした練習中に発生した事故	
一 般	ガスにおける中毒事故 異物による気道閉鎖事故 異物の誤飲事故 スケートによる遊戯中に発生したもの スキー、スノーボードによる遊戯中に発生したもの 火傷によるもの 雪の自己転倒 前各号以外で屋内において発生したけが " 屋外において発生したけが	
加 害	犯罪による事故であることが明白なもの 犯罪と明白でないもので、傷害を加えられたもの	
自 損	毒物・薬物を使用したもの 自殺の目的でガスを使用したもの 首くくりで自殺を行ったもの 刃物で自殺を行ったもの 河川、海、交通機関等に投身したもの 前各号以外の方法で自殺を行ったもの	
急 病	脳外科系疾患 内科系疾患 小児科系疾患 外科・整形外科系疾患 産婦人科系疾患 急性アルコール中毒 前各号以外の疾患	
そ の 他	転院 (うち夜間急病センターからの転院) 正常分娩 医師、看護師を搬送したもの 医薬品等の輸送によるもの 誤報、いたずら等によるもの その他	

- (注) 1. 重症とは、傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。
 2. 中等症とは、傷病の程度が重症又は軽症、その他以外のものをいう。
 3. 軽症とは、傷病の程度が入院加療を必要としないものをいう。
 4. その他とは、接骨院へ搬送したものや、医療機関搬送後に受診しなかったものをいう。

状 況 (平成27年中)

(単位：件、人)

(各合計)	出 動 件 数			搬送人員	傷 病 程 度				
	総数	搬送件数	不 搬 送 数		死亡	重症	中等症	軽症	その他
	88,507	76,173	12,334	76,634	1,125	2,645	31,992	40,849	23
(475)	407	79	328	87	8	15	33	31	-
	68	14	54	15	-	5	4	6	-
(16)	16	14	2	14	-	-	9	5	-
(7)	7	1	6	1	-	-	-	1	-
(4,352)	2,694	2,325	369	2,618	7	42	227	2,339	3
	837	667	170	688	1	11	136	540	-
	798	734	64	747	13	33	126	575	-
	23	20	3	20	-	1	5	14	-
(524)	146	146	-	148	3	14	62	69	-
	3	3	-	3	-	1	1	1	-
	2	2	-	2	-	-	-	2	-
	44	44	-	44	1	5	19	19	-
	329	321	8	321	2	4	84	231	-
(407)	200	197	3	197	-	-	46	151	-
	2	2	-	2	-	-	-	2	-
	7	6	1	6	-	-	1	5	-
	198	195	3	196	-	1	58	137	-
(13,001)	10	6	4	8	-	-	4	4	-
	299	249	50	249	40	64	75	70	-
	252	218	34	219	1	2	37	179	-
	24	23	1	23	-	-	4	19	-
	83	81	2	81	-	2	23	56	-
	127	123	4	123	1	-	20	102	-
	1,098	976	122	977	1	7	368	601	-
	7,722	7,196	526	7,213	26	109	2,599	4,474	5
	3,386	2,879	507	2,887	17	51	733	2,085	1
(537)	515	360	155	366	1	6	32	326	1
	22	15	7	15	-	-	2	13	-
(1,251)	590	544	46	545	-	21	333	191	-
	20	9	11	9	3	-	5	1	-
	246	121	125	121	76	10	23	12	-
	231	176	55	176	3	9	40	124	-
	98	70	28	70	23	20	17	10	-
	66	36	30	36	1	4	22	9	-
(56,083)	8,613	8,442	171	8,443	45	520	3,977	3,901	-
	31,307	29,132	2,175	29,175	785	1,091	12,311	14,981	7
	3,020	2,845	175	2,864	5	16	624	2,219	-
	2,435	2,236	199	2,237	-	7	884	1,346	-
	473	451	22	460	-	7	185	267	1
	1,415	1,190	225	1,191	-	3	205	982	1
	8,820	6,048	2,772	6,054	47	67	1,632	4,305	3
(11,854)	7,997	7,918	79	7,921	14	496	6,998	413	-
	(709)	(701)	(8)	(701)	(2)	(11)	(608)	(80)	-
	16	14	2	17	-	-	15	2	-
	1,042	-	1,042	-	-	-	-	-	-
	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	736	-	736	-	-	-	-	-	-
	2,062	45	2,017	45	1	1	13	29	1

市内・市外居住別・診療科目別搬送状況（平成27年中）

（単位：人）

区分	総数	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般負傷	加害	自損	急病	その他
総数	76,634	102	14	1	4,073	518	401	11,780	381	957	50,424	7,983

市内・市外居住別

市内居住者	72,432	101	14	1	3,724	452	330	11,089	357	917	48,269	7,178	
市外居住者	道内	2,882	-	-	-	283	57	56	377	14	15	1,392	688
	道外	977	-	-	-	51	5	14	245	7	7	572	76
	国外	137	-	-	-	-	-	1	45	1	-	87	3
その他	206	1	-	-	15	4	-	24	2	18	104	38	

（注） その他とは、住所が判明しない者をいう。

診療科目

内科	24,084	12	-	-	25	13	20	428	6	433	21,652	1,495
呼吸器科	2,096	30	-	-	3	-	-	87	-	6	1,472	498
消化器科	4,520	-	-	-	4	-	-	49	-	102	3,238	1,127
循環器科	5,946	-	-	-	7	3	2	54	1	19	4,676	1,184
精神科	1,215	-	-	-	-	-	-	11	1	71	946	186
小児科	3,822	1	-	1	22	-	1	229	3	3	2,947	615
産婦人科	965	-	-	-	14	-	-	4	1	-	555	391
泌尿器科	1,103	-	-	-	2	-	-	20	-	-	861	220
外科	2,122	56	-	-	178	106	23	928	46	252	320	213
整形・形成外科	11,218	3	9	-	2,535	262	247	5,250	106	40	2,192	574
脳神経外科	17,985	-	5	-	1,268	123	103	4,540	211	21	10,423	1,291
眼科	99	-	-	-	1	5	3	41	2	-	31	16
耳鼻咽喉科	830	-	-	-	2	-	1	58	1	-	696	72
歯科・口腔外科	96	-	-	-	5	1	1	42	2	-	36	9
その他	533	-	-	-	7	5	-	39	1	10	379	92

医療機関別搬送状況（平成27年中）

（単位：人）

区 分	総 数	国・公立	公 的	私 的		その他の場所
				病 院	診 療 所	
総 数	76,634	7,315	1,159	62,004	6,120	36
救急告示医療機関	61,534	7,075	1,157	52,783	519	-
その他の医療機関	15,064	240	2	9,221	5,601	-
その他の場所	36	-	-	-	-	36

（注） その他の場所とは、接骨院や空港へ搬送したものの他、消防航空隊や他本部救急隊に引継いだもの等も含む。

告示医療機関の状況（平成28年4月1日現在）

（単位：箇所）

区 分	総 数	国・公立	公 的	私 的	
				病 院	診 療 所
総 数	69	6	1	55	7
中 央	15	2	1	11	1
北 東	6	1	-	4	1
白 石	11	-	-	9	2
厚 別	5	1	-	4	-
豊 平	7	-	-	7	-
清 田	7	-	-	5	2
南 西	3	-	-	3	-
手 稲	5	1	-	4	-
	7	1	-	6	-
	3	-	-	2	1

転送回数別搬送状況（平成27年中）

（単位：人）

事 故 種 別	総 数	0 回	1 回	2 回	3 回	4回以上
総 数	76,634	76,525	109	-	-	-
急 病	50,424	50,352	72	-	-	-
交 通	4,073	4,070	3	-	-	-
一 般	11,780	11,760	20	-	-	-
そ の 他	10,357	10,343	14	-	-	-

（注） 1. その他とは、加害、労働災害、運動競技等による事故種別をいう。
 2. 転送回数の0回とは、最初に搬送した医療機関で収容された場合をいい、1回とは最初に搬送した医療機関で収容されずに、次に搬送した医療機関で収容された場合をいう。また、2回とは更に次に搬送した医療機関（3件目）で収容された場合をいう。

事故別不搬送扱いの内容 (平成27年中)

(単位：件)

区 分	総 数	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 災	運 動	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他
総 数	12,334	382	2	6	606	8	7	1,250	162	295	5,739	3,877
傷病者なし	1,839	313	-	1	78	-	1	48	10	1	99	1,288
拒否・辞退	1,746	9	1	-	139	2	-	260	49	30	932	324
めいてい	47	-	-	-	-	-	-	3	1	-	5	38
死 亡	1,106	5	-	4	1	2	-	8	6	170	866	44
現場処置	5,353	45	-	-	335	2	5	805	84	77	3,430	570
誤報・いたづら	304	4	-	1	1	-	-	2	1	-	6	289
自家用車	8	-	-	-	-	-	-	2	-	-	6	-
タクシー	15	-	-	-	-	-	-	1	-	-	8	6
警察車両	44	-	-	-	1	-	-	3	-	3	17	20
そ の 他	1,872	6	1	-	51	2	1	118	11	14	370	1,298

(注) 不搬送区分のその他とは、医師等搬送後の不搬送などをいう。

救急隊員が行った応急処置 (平成27年中)

(単位：件)

区 分	総 数	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 災	運 動	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他
応急処置対象人員	83,015	151	14	3	4,399	521	405	12,592	473	1,202	54,770	8,485
計	329,359	569	53	4	17,778	2,542	1,621	49,964	1,532	4,929	222,293	28,074
止 血	1,390	-	1	-	102	89	8	779	31	63	294	23
被 覆	4,514	19	2	-	800	223	40	2,877	107	191	247	8
保 温	323	9	-	-	18	3	2	51	1	26	187	26
冷 却	394	26	-	-	2	19	6	116	3	1	211	10
固 定	6,546	2	3	-	2,022	299	186	2,997	46	294	533	164
酸素吸入	13,525	53	-	-	159	42	4	641	8	238	9,618	2,762
気道確保	2,065	14	-	-	36	11	-	182	3	147	1,617	55
経鼻エアウェイ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
血 圧 測 定	70,320	92	14	1	3,946	506	398	10,878	378	828	46,994	6,285
聴診器使用	50,979	100	7	1	2,735	289	206	7,016	225	644	36,845	2,911
血中酸素飽和度測定	74,558	94	14	1	4,027	511	401	11,532	379	837	49,075	7,687
喉頭鏡・マギール鉗子	161	-	-	-	-	1	-	90	-	1	69	-
心電計使用	25,299	41	-	-	370	83	21	1,473	17	511	20,832	1,951
人工呼吸のみ	548	7	-	-	13	3	-	63	-	19	410	33
胸骨圧迫	86	1	-	-	4	2	-	14	-	8	54	3
CPR(人工呼吸+胸骨圧迫)	1,572	7	-	-	24	7	-	144	2	123	1,251	14
AED(除細動器)	151	-	-	-	1	1	-	2	-	1	143	3
器具による気道確保	1,114	4	-	-	14	3	-	110	2	59	921	1
輸 液	796	3	-	-	9	1	-	80	-	33	670	-
薬 剤 投 与	685	2	-	-	8	1	-	66	-	28	580	-
そ の 他	74,331	95	12	1	3,488	448	349	10,853	330	876	51,741	6,138

(注) 応急処置区分のその他とは、検温、吸引及び嘔吐処理等をいう。

救急搬送所要時間状況（平成27年中）

（単位：件）

出動から現着までの件数

事故種別	総 数	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上
総 数	88,507	1,684	14,573	63,291	8,718	241
急 病	56,083	542	8,913	40,926	5,602	100
交 通	4,352	104	728	3,021	458	41
一 般	13,001	167	2,122	9,198	1,452	62
そ の 他	15,071	871	2,810	10,146	1,206	38

事故種別	総 数	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上
------	-----	-------	----------------	----------------	----------------	-----------------	--------

現場から病院到着までの搬送件数

総 数	76,173	38,668	29,541	6,773	1,132	58	1
急 病	50,344	26,178	19,250	4,267	628	21	-
交 通	3,746	1,996	1,370	308	71	1	-
一 般	11,751	5,938	4,485	1,077	234	17	-
そ の 他	10,332	4,556	4,436	1,121	199	19	1

出動から病院到着までの搬送件数

総 数	76,173 (76,634)	10 (10)	3,411 (3,414)	25,052 (25,103)	44,551 (44,909)	3,063 (3,109)	86 (89)
急 病	50,344 (50,424)	3 (3)	1,834 (1,835)	16,254 (16,270)	30,367 (30,421)	1,837 (1,846)	49 (49)
交 通	3,746 (4,073)	-	96 (97)	1,115 (1,146)	2,316 (2,576)	213 (246)	6 (8)
一 般	11,751 (11,780)	-	370 (370)	3,376 (3,377)	7,296 (7,322)	694 (696)	15 (15)
そ の 他	10,332 (10,357)	7 (7)	1,111 (1,112)	4,307 (4,310)	4,572 (4,590)	319 (321)	16 (17)

(注) 1. その他とは、加害、労働災害、運動競技等による事故種別をいう。

2. () 内は、搬送人員を示す。

主な救急資器材現有状況（平成28年4月1日現在）

資 器 材 名	総数	局	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
観 察 用 資 器 材												
聴 診 器 ・ 血 圧 計 (組)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
心 電 計 (台)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定 器 (台)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
呼 気 二 酸 化 炭 素 測 定 器 (台)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
血 糖 測 定 器 (台)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
呼 吸 ・ 循 環 管 理 用 資 器 材												
自 動 式 人 工 呼 吸 器 (一 式) (組)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
手 動 式 人 工 呼 吸 器 (成 人 ・ 小 児 用) (組)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
手 動 式 人 工 呼 吸 器 (新 生 児 用) (組)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
自 動 酸 素 吸 入 装 置 (組)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
加 湿 流 量 計 酸 素 吸 入 装 置 (基)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
吸 引 器 一 式 (組)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
喉 頭 鏡 ・ マ ギ ー ル 鉗 子 (組)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
シ ョ ッ ク パ ン ツ (成 人 ・ 児 童 用) (組)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
自 動 体 外 式 除 細 動 器 (台)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
輸 液 ・ 薬 剤 セ ッ ト (組)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
気 管 挿 管 セ ッ ト (組)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
ビ デ オ 喉 頭 鏡 (組)	23	1	2	3	3	2	1	2	2	2	3	2
創 傷 等 保 護 資 器 材												
梯 状、マ ジ ッ ク ・ ギ プ ス 一 式 (組)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
搬 送 用 資 器 材												
ス ト レ ッ チ ャ ー (椅 子 式 担 架 兼 用 を 含 む) (台)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
椅 子 式 担 架 (台)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
布 担 架、折 り た た み 式 担 架 (組)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー (台)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
バ ッ ク ボ ー ド (台)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
消 毒 用 資 器 材												
噴 霧 消 毒 器 (組)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
高 圧 蒸 気 滅 菌 器 (小 型) (台)	29	1	4	4	3	3	1	3	2	3	3	2
オ ゾ ン 殺 菌 ロ ッ カ ー (台)	31	1	4	4	4	3	2	3	2	3	3	2
安 定 化 二 酸 化 塩 素 発 生 装 置 (台)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3
通 信 用 装 置												
携 帯 電 話 (台)	40	2	5	5	6	4	2	3	3	4	3	3

普及講習実施状況（平成27年中）

（単位：回、人）

区分	回数	総数	救命ステップアップ講習	普通救命講習				応急手当指導員養成講習	応急手当普及員養成講習	救命入門コース	救命導入講習	救命フォローアップ講習	応急手当普及員再講習
				I	II	III	計						
総数	回数	1,424	12	756	68	10	834	12	14	132	406	4	10
	人員	33,207	100	16,201	1,044	323	17,568	42	224	4,086	10,915	39	233
消防員	回数	11	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-
	人員	31	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-
消防団員	回数	17	-	4	1	-	5	-	7	-	1	-	4
	人員	234	-	43	8	-	51	-	91	-	6	-	86
事業等	回数	669	-	467	23	1	491	1	1	45	131	-	-
	人員	13,219	-	8,439	408	91	8,938	11	22	977	3,271	-	-
町会内等	回数	67	-	27	-	-	27	-	-	11	29	-	-
	人員	1,874	-	663	-	-	663	-	-	258	953	-	-
自主防災組織	回数	14	-	8	-	-	8	-	-	1	5	-	-
	人員	555	-	350	-	-	350	-	-	10	195	-	-
学校関係	回数	456	-	175	13	6	194	-	-	60	202	-	-
	人員	13,717	-	5,272	369	143	5,784	-	-	2,456	5,477	-	-
団体・グループ	回数	73	-	24	-	3	27	-	-	13	33	-	-
	人員	1,717	-	395	-	89	484	-	-	353	880	-	-
その他	回数	117	12	51	31	-	82	-	6	2	5	4	6
	人員	1,860	100	1,039	259	-	1,298	-	111	32	133	39	147

- (注) 1. 救命ステップアップ講習とは、救命導入講習、救命入門コース又は応急手当WEB講習の修了者に対して行う応急手当の知識と技術に関する講習である。（2時間講習）
2. 普通救命講習Ⅰとは、応急手当の知識と技術に関する講習である。（3時間講習）
3. 普通救命講習Ⅱとは、一定の頻度で心停止者に対し応急の対応をすることが期待・想定される者を対象とした、基本的な応急手当の知識と技術に関する講習である。（4時間講習）
4. 普通救命講習Ⅲとは、乳幼児・新生児に対する応急手当の知識と技術に関する講習である。（3時間講習）
5. 応急手当指導員養成講習とは、普及講習の講師（応急手当指導員という。）を養成する講習である。（救急隊員を対象とした8時間講習）
6. 応急手当普及員養成講習とは、普通救命講習の講師（応急手当普及員という。）を養成する講習である。（24時間講習）
7. 救命入門コースとは、心肺蘇生法に特化した基礎的な知識と技術に関する講習である。（90分講習）
8. 救命導入講習とは、基礎的な応急手当の知識と技術に関する講習である。（60分以上の講習）
9. 救命フォローアップ講習とは、普通救命講習修了者に対する実技を中心とした再講習である。（1時間講習）
10. 応急手当普及員再講習とは、認定証の有効期限（3年間）内に受講する有効期限延長のための講習である。

救 助 業 務 の 概 要

消防機関が行う救助業務は、時代の変遷とともに火災、交通事故、水難事故、自然災害からテロ災害などの特殊な災害において、生命又は身体に危険が及んでいる救助を要する者の危険を排除し、安全な状態に救出することを目的としている。

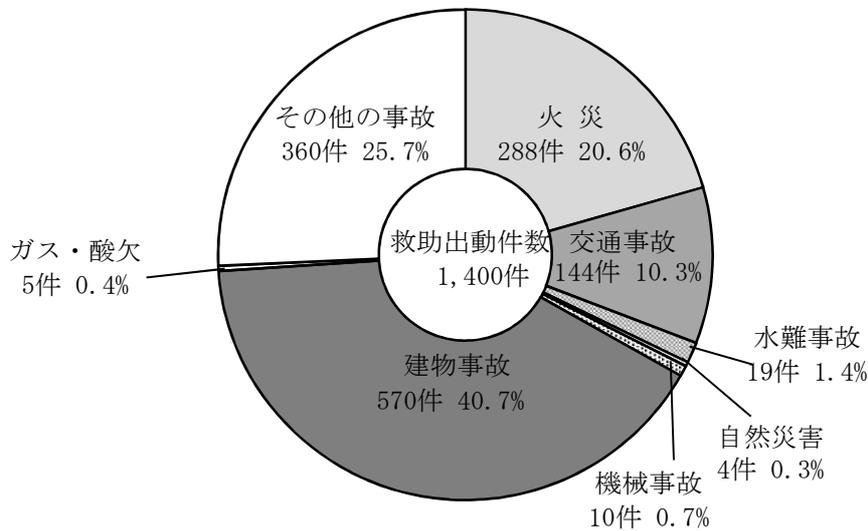
そのような中、本市では人命救助を行うために必要な特別の救助器具を装備した救助車と専門的な教育を受けた隊員で編成する「救助隊」を各消防署に1隊、計10隊配置し、各種災害に的確に対応する体制を整備している。

このうち、中央消防署の救助隊については、「特別高度救助隊（スーパーレスキューサッポロ）」に位置づけ、北・豊平消防署の「高度救助隊」とともに、専門的かつ高度な教育を受けた隊員が高度救助用器具を活用して地震や列車事故などの大規模災害に的確に対応する体制を構築している。

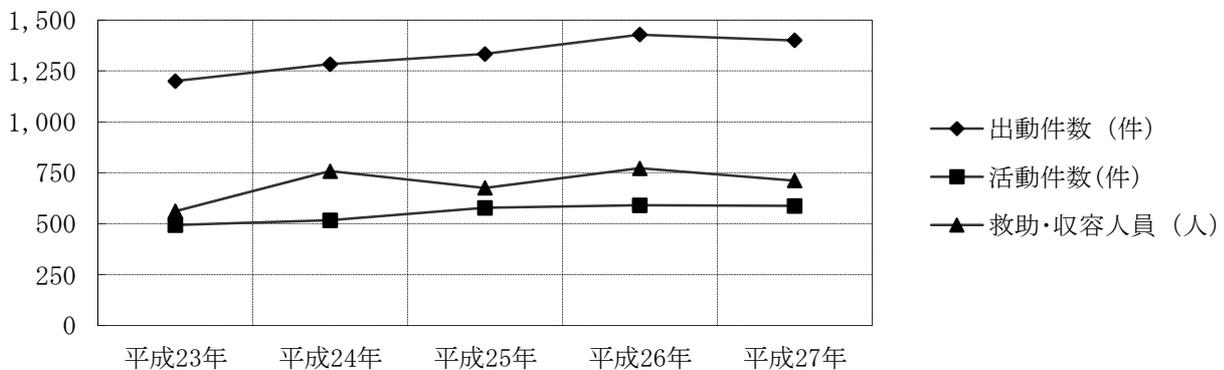
さらに各消防署の地域特性に応じて「水難救助隊」や「山岳救助隊」、サリン等の生物・化学剤などによるテロ災害等に対応する「特殊災害救助隊」を指定しており、これらの隊は、国内各地における大規模災害に派遣する「緊急消防援助隊」に登録し、迅速な応援体制を整えている。

また、特別高度救助隊員は海外での大規模災害において国際緊急援助活動に従事する「国際消防救助隊員」として総務省消防庁に登録している。

救助出動・事故種別比較（平成27年中）



救助出動・活動状況（過去5年間）



	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
出 動 件 数	1,200	1,283	1,333	1,428	1,400
活 動 件 数	493	517	578	590	587
救助・収容人員	561	758	676	772	712

要因別救助活動状況 (平成27年中)

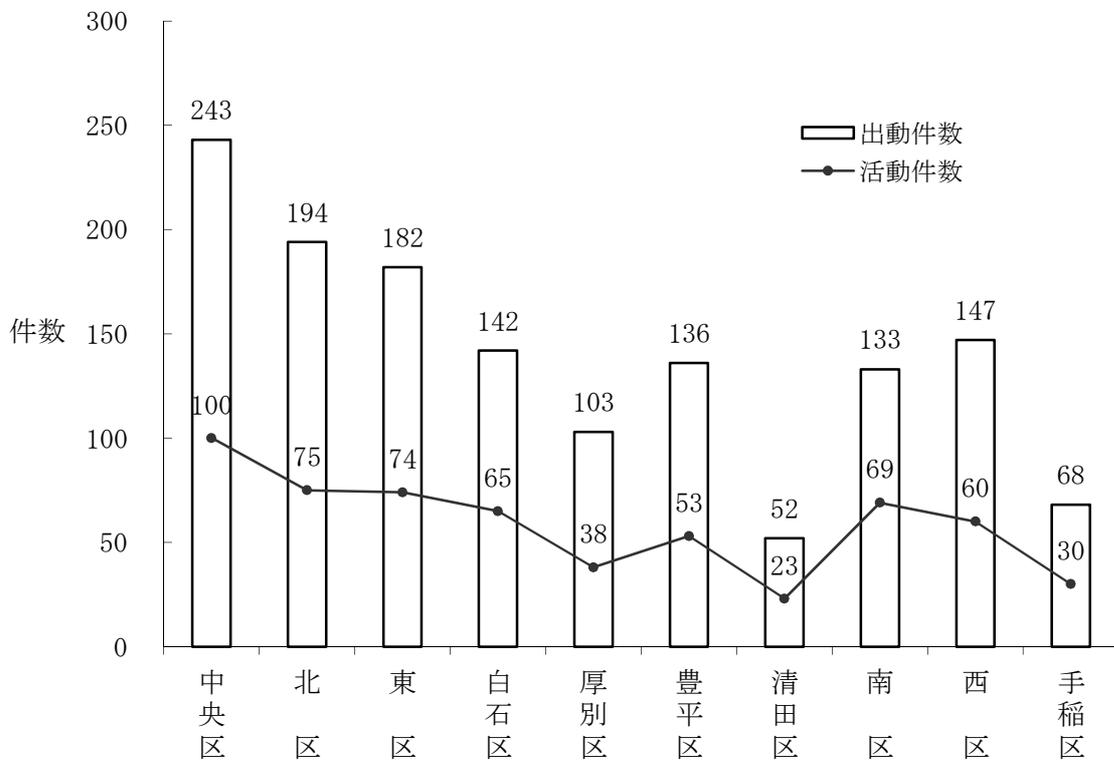
要 因	出 動 件 数 (件)	出 動 隊 数 (隊)	出 動 人 員 (人)	活 動 件 数 (件)	活 動 隊 数 (隊)	活 動 人 員 (人)	救助人員 (人)		収 容 人 員 (人)
							救 出	誘 導	
総 計	1,400	9,022	36,742	587	762	3,498	606	54	52
火 災	288	3,917	15,557	56	104	482	57	42	8
建 物 火 災	259	3,559	14,106	56	104	482	57	42	8
建 物 以 外 の 火 災	29	358	1,451	-	-	-	-	-	-
火 災 以 外	1,112	5,105	21,185	531	658	3,016	549	12	44
交 通 事 故	144	678	2,794	56	81	359	74	1	2
交 通 機 関 相 互	77	388	1,574	33	49	214	45	1	1
交 通 機 関 単 独	57	239	1,009	22	31	141	28	-	1
交 通 機 関 と 歩 行 者	2	9	36	-	-	-	-	-	-
地 下 鉄 人 身	1	5	21	-	-	-	-	-	-
列 車 人 身	4	26	111	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 交 通 事 故	3	11	43	1	1	4	1	-	-
水 難 事 故	19	172	764	12	24	109	11	-	1
水 中 転 落	5	35	150	2	4	17	2	-	-
入 水	3	28	124	2	3	13	2	-	-
そ の 他 の 水 難 事 故	11	109	490	8	17	79	7	-	1
自 然 災 害	4	15	59	2	2	8	2	-	-
風 害	1	4	17	1	1	4	1	-	-
水 害	1	3	9	1	1	4	1	-	-
雪 害	2	8	33	-	-	-	-	-	-
機 械 事 故	10	48	205	6	9	43	6	-	1
エレベーター閉じ込め	2	8	35	1	1	5	1	-	-
機 械 挟 ま れ	5	23	101	3	5	25	3	-	-
機 械 下 敷 き	1	6	25	-	-	-	-	-	1
そ の 他 の 機 械 事 故	2	11	44	2	3	13	2	-	-
建 物 事 故	570	2,425	10,012	346	374	1,748	349	-	30
建 物 閉 じ 込 め	556	2,366	9,770	332	355	1,663	335	-	28
建 物 挟 ま れ	2	8	34	2	2	8	2	-	-
建 物 下 敷 き	1	12	49	1	2	10	1	-	-
そ の 他 の 建 物 事 故	11	39	159	11	15	67	11	-	2
ガ ス ・ 酸 欠 事 故	5	39	157	4	4	19	2	6	-
プ ロ パ ン ガ ス 等 事 故	1	14	54	1	1	5	-	1	-
毒 性 ガ ス 事 故	1	7	26	1	1	4	1	1	-
一 酸 化 炭 素 中 毒	3	18	77	2	2	10	1	4	-
破 裂 事 故	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 事 故	360	1,728	7,194	105	164	730	105	5	10
そ の 他 転 落	33	171	684	20	32	137	20	-	2
そ の 他 閉 じ 込 め	15	60	256	8	9	37	8	-	1
そ の 他 挟 ま れ	28	93	385	28	33	142	28	-	-
そ の 他 下 敷 き	3	11	46	1	1	4	1	-	-
落 雪 事 故	7	28	119	3	4	16	-	-	-
山 岳 事 故	26	236	1,033	21	54	263	25	-	1
そ の 他 の 事 故	36	163	676	24	31	131	23	5	6
虚 報 ・ 誤 報	212	966	3,995	-	-	-	-	-	-

(注) 収容とは、救助時既に死亡していたものをいう。

行政区別救助出動状況（平成27年中）

区分	総数	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス・酸欠	破裂事故	その他
総数	1,400	288	144	19	4	10	570	5	-	360
	587	56	56	12	2	6	346	4	-	105
中央区	243	46	11	4	-	2	95	1	-	84
	100	10	4	3	-	1	61	1	-	20
北区	194	46	26	5	2	2	63	-	-	50
	75	8	12	3	-	1	41	-	-	10
東区	182	42	17	3	1	-	73	1	-	45
	74	10	8	1	1	-	42	1	-	11
白石区	142	34	14	2	1	1	65	1	-	24
	65	9	3	1	1	-	47	1	-	3
厚別区	103	21	8	-	-	1	51	-	-	22
	38	3	2	-	-	1	28	-	-	4
豊平区	136	23	16	3	-	-	59	1	-	34
	53	4	5	2	-	-	32	1	-	9
清田区	52	13	13	-	-	-	18	-	-	8
	23	2	3	-	-	-	12	-	-	6
南区	133	18	19	1	-	-	55	1	-	39
	69	3	8	1	-	-	36	-	-	21
西区	147	32	14	-	-	3	59	-	-	39
	60	2	7	-	-	3	31	-	-	17
手稲区	68	13	6	1	-	1	32	-	-	15
	30	5	4	1	-	-	16	-	-	4

(注) 上段：出動件数、下段：活動件数（単位：件）



月別・曜日別救助出動件数（平成27年中）

※上段：出動件数、下段：活動件数（単位：件）

月別 曜日別	総数	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス・ 酸欠	破裂事故	その他
総数	1,400 587	288 56	144 56	19 12	4 2	10 6	570 346	5 4	- -	360 105

月別救助出動状況

1月	128 61	23 3	17 10	- -	1 -	2 2	52 35	- -	- -	33 11
2月	119 51	31 11	12 3	1 -	1 -	3 2	44 24	1 1	- -	26 10
3月	114 44	22 5	8 1	2 1	- -	- -	47 27	1 1	- -	34 9
4月	104 41	37 4	8 3	1 1	- -	- -	41 25	- -	- -	17 8
5月	138 58	28 3	10 5	2 2	- -	- -	62 39	- -	- -	36 9
6月	112 48	23 3	9 3	3 2	- -	1 1	44 32	1 1	- -	31 6
7月	121 49	23 5	13 3	3 2	- -	1 -	53 30	- -	- -	28 9
8月	122 44	16 5	14 5	- -	1 1	1 1	47 23	1 -	- -	42 9
9月	106 51	13 2	15 7	5 4	- -	1 -	45 27	- -	- -	27 11
10月	125 49	29 3	17 8	1 -	1 1	- -	47 29	- -	- -	30 8
11月	103 41	18 5	14 4	- -	- -	- -	42 23	- -	- -	29 9
12月	108 50	25 7	7 4	1 -	- -	1 -	46 32	1 1	- -	27 6

曜日別救助出動状況

日曜	193 71	61 13	16 -	3 3	- -	- -	64 42	- -	- -	49 13
月曜	237 97	55 8	26 12	2 1	- -	1 -	90 56	1 1	- -	62 19
火曜	209 88	36 9	29 10	4 3	1 1	1 -	91 49	1 1	- -	46 15
水曜	206 85	27 5	17 10	5 1	1 -	2 1	100 52	- -	- -	54 16
木曜	196 82	35 3	15 8	- -	1 1	3 3	85 49	1 1	- -	56 17
金曜	167 70	29 6	21 8	4 4	- -	2 2	66 40	1 1	- -	44 9
土曜	192 94	45 12	20 8	1 -	1 -	1 -	74 58	1 -	- -	49 16

航 空 消 防

航 空 業 務 の 概 要

都市構造、社会情勢の変化に伴い、複雑多様化、大規模化、特殊化する各種災害に対応するため、平成3年に消防ヘリコプター1機を導入し、市内における火災、救急、救助活動はじめ、道内外における大規模災害に応援出動するとともに、消防業務及び行政業務における上空調査など、広範多岐に渡り有効活用を図ってきたところである。

このような中、平成21年3月にヘリコプター1機を主力機として新たに導入し、旧機体を予備機として運用することとし、平成21年4月1日からヘリコプター2機により常時1機が稼働可能な通年運航体制を確立した。

なお、主力機には赤外線カメラを装備しており、火災現場や捜索活動において、より効果的な活動が可能となった。

また、消防隊、救助隊、救急隊との連携訓練を行い、空・陸一体となった消防活動体制の強化に努めている。

1. 活 動 状 況

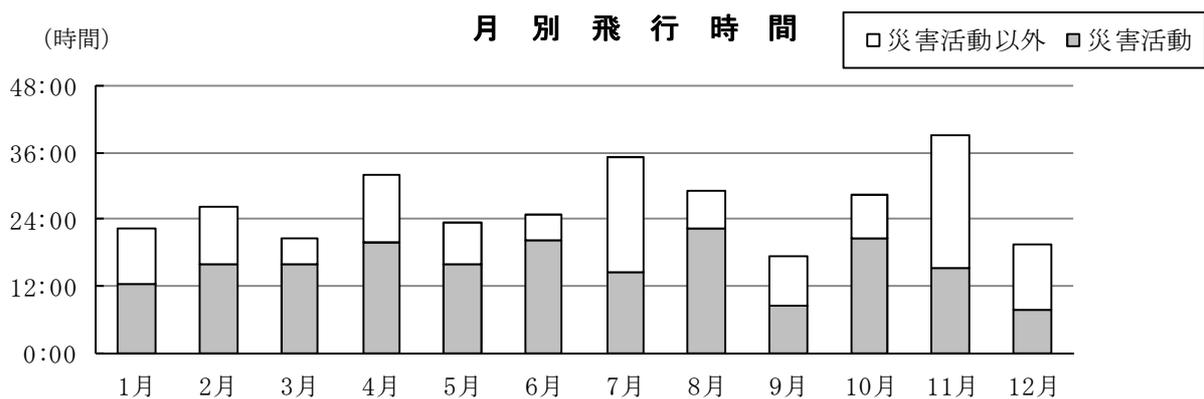
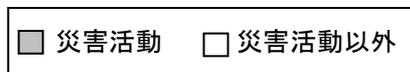
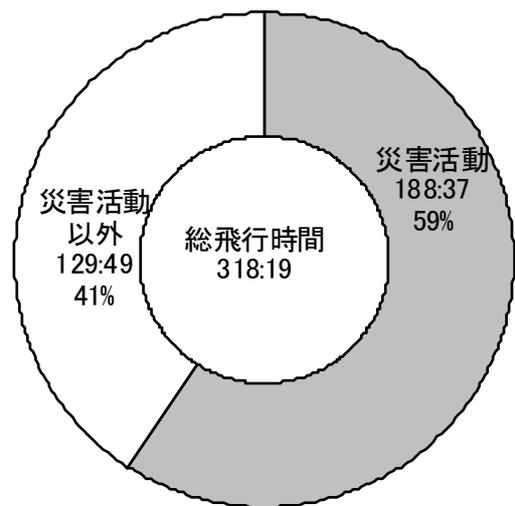
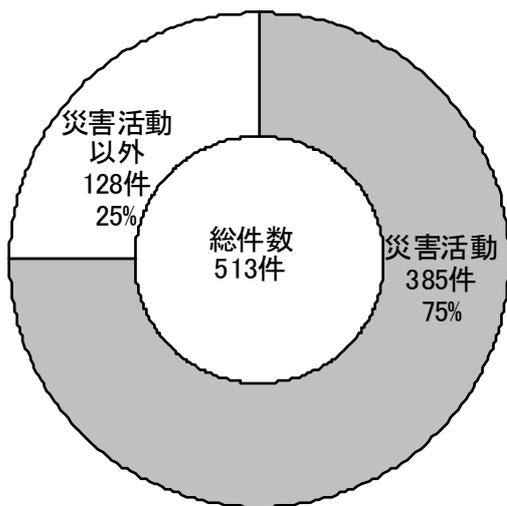
平成27年中は全飛行件数513件、飛行時間318時間19分。内訳は、災害活動件数385件、飛行時間188時間37分、災害活動以外の飛行件数128件、飛行時間129時間42分となった。

月別ヘリコプター活動状況（平成27年中）

（単位：件）

区 分	月 別	総 数		月 別 飛 行 件 数												
		件数	時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
総 数		513	318:19	41	40	39	58	45	44	46	40	31	43	49	37	
災 害 活 動	火 災	35	20:23	3	5	2	5	4	4	2	2	1	1	2	4	
	救 急	305	132:56	25	24	29	30	23	26	28	24	17	27	31	21	
	救 助	35	30:29	2	4	2	3	4	5	3	4	2	4	1	1	
	危険排除	10	4:49	1	-	-	3	3	1	1	-	-	-	-	1	
	計	385	188:37	31	33	33	41	34	36	34	30	20	32	34	27	
災 害 活 動 以 外	消 防 業 務	広 報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		調 査	2	0:35	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
		訓 練	82	70:02	8	3	3	13	8	4	8	6	7	6	9	7
	航 空 隊 業 務	航 空 調 査	1	0:22	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		操 縦 訓 練	20	26:24	1	2	1	2	-	1	3	2	1	2	2	3
		整 備 確 認	8	22:09	-	2	1	-	-	-	1	-	-	-	4	-
	行 政 業 務	15	10:10	-	-	1	1	2	3	-	2	3	3	-	-	
計	128	129:42	10	7	6	17	11	8	12	10	11	11	15	10		

（注） 災害活動件数には、広域応援を含む。

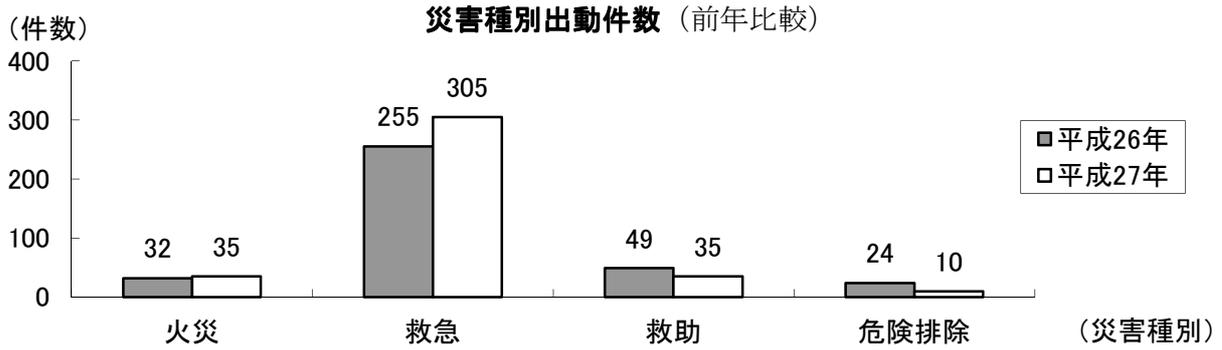


2. 災 害 出 動 件 数

災害出動の総件数は385件で、前年比25件の増加となった。災害出動の割合は、火災が9%、救急が79%、救助が9%、危険排除が3%となっている。

災害別の件数については、次のとおりである。

- (1) 火災は、35件で前年比3件の増加となった。内訳は、通常建物11件、中高層18件、野火3件、林野2件、車両1件となっている。
- (2) 救急は、305件で前年比50件の増加となった。内訳は、急病176件、一般43件、自損25件、火災1件、加害1件、交通14件、労災5件、運動1件、その他39件、転院30件、医師搬送9件となっており、傷病者の搬送人員は137人で、前年比27人の増加、医師の搬送人員は84人で、前年比23人の増加となっている。
- (3) 救助は、35件で前年比14件の減少となった。内訳は、水難事故9件、山岳事故22件、交通事故1件、虚報・誤報2件、その他1件となっており、救出人員は21人で、前年比3人の増加となっている。
- (4) 危険排除は、10件で前年比14件の減少となった。内訳は、山岳地等での行方不明者の捜索2件、火災現象等の見られない事象7件、その他1件となっている。

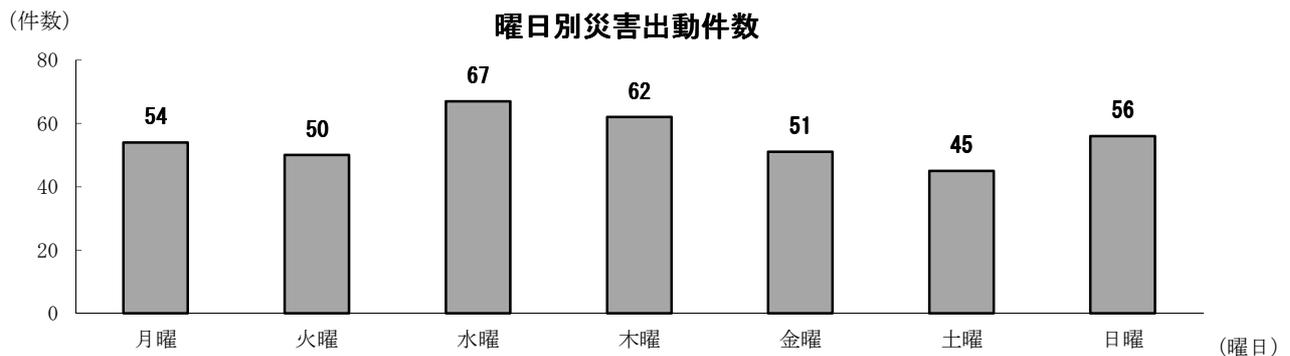
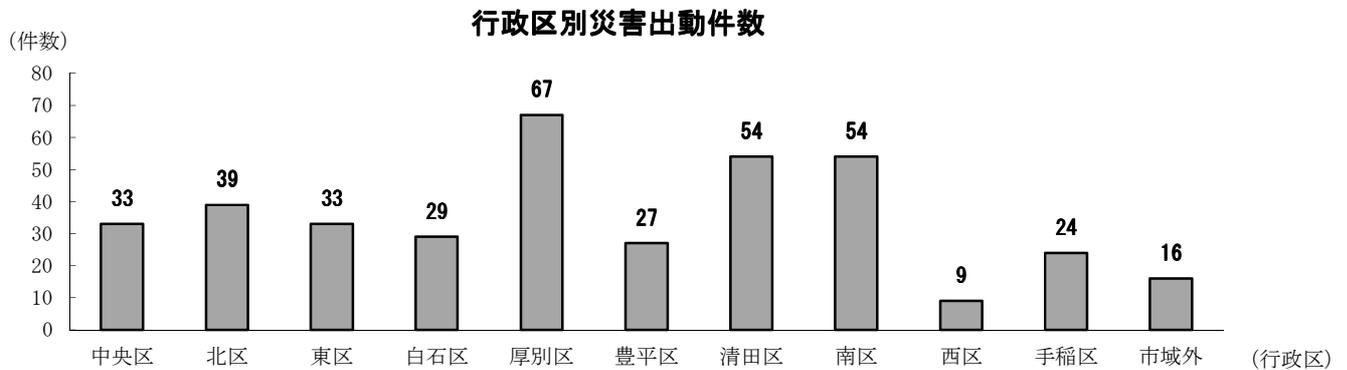


行政区別災害出動状況 (平成 27 年中)

(単位：件)

区分	総数	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	市域外
総数	385	33	39	33	29	67	27	54	54	9	24	16
火災	35	8	8	4	2	3	1	1	2	3	1	2
救急	305	19	27	26	25	62	24	52	43	-	18	9
救助	35	4	3	3	2	-	1	1	8	5	5	3
危険排除	10	2	1	-	-	2	1	-	1	1	-	2

(注) 市域外の内訳については、函館市 3 件、小樽市、恵庭市が各 2 件、旭川市、釧路市、苫小牧市、北見市、帯広市、名寄市、共和町、今金町、利尻町が各 1 件



3. 出動指令から離陸までの時間

屋外（エプロン）待機している場合は平均 5 分 27 秒、格納庫待機している場合は平均 9 分 51 秒

4. 災害時の離着陸状況

災害時の離着陸は、航空法の適用除外を受け、安全が確保される場合には、どこの場所においても可能である。しかし、操縦士が目視によって周囲の状況を確認できるものでなければならない。

また、日没以降や積雪時においては、照明・赤旗の設定等、消防隊との連携活動が必要不可欠である。

災害時離着陸実績（平成 27 年中）

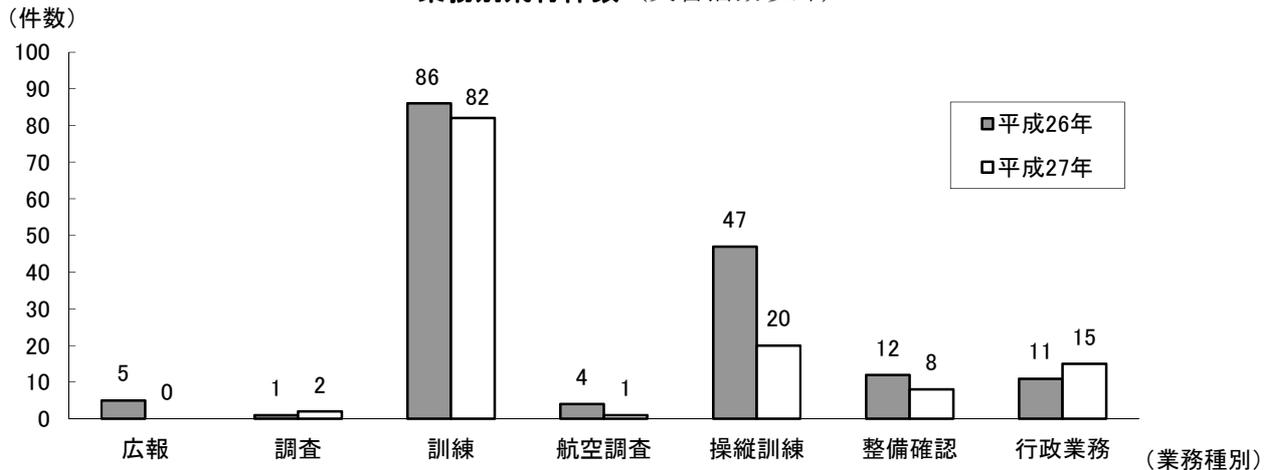
（単位：回）

離着陸場所		着陸回数	指定場所（市内）		市域外
			指定	指定外	
病院	屋上ヘリポート	193	185	-	8
	病院敷地内	18	-	-	18
学校	小学校	4	-	-	4
	中学校	8	8	-	-
	高等学校	11	11	-	-
	大学	1	1	-	-
	札幌市消防学校	1	1	-	-
公園	公園	59	58	-	1
その他	河川敷等	1	1	-	-
	空港等	15	8	-	7
	事業所駐車場等	18	18	-	-
	その他	23	22	1	-

5. 災害以外の活動

- (1) 広報（写真撮影等）
0 件で前年比 5 件の減少
- (2) 調査（消防職団員の警防調査等）
2 件で前年比 1 件の増加
- (3) 訓練（合同・総合訓練、救助隊連携訓練等）
82 件で前年比 4 件の減少
- (4) 航空調査（緊急離着陸場等調査等）
1 件で前年比 3 件の減少
- (5) 操縦訓練（緊急操作・計器飛行等）
20 件で前年比 27 件の減少
- (6) 整備確認飛行（耐空検査のための空輸・整備後の確認飛行等）
8 件で前年比 4 件の減少
- (7) 行政業務（他部局の写真撮影、産業廃棄物調査等）
15 件で前年比 4 件の増加

業務別飛行件数（災害活動以外）



離着陸場状況（平成28年4月1日現在）

市内の災害事象においてヘリコプターを有効に活用するため、緊急時に使用する離着陸場（以下「緊急離着陸場」という。）として関係者に承諾を得て、札幌市地域防災計画で指定している緊急離着陸場が57ヶ所、また、周囲の障害物を考慮し、離着陸可能場所として消防航空係が選定した緊急離着陸場が265ヶ所、さらに屋上緊急離着陸場及び緊急救助用スペースがある。

指 定 場 所	件 数		
	地域防災計画内	地域防災計画外	計
公 園	9	107	116
学 校	21	138	159
そ の 他	27	20	47
小 計	57	265	322
屋上緊急離着陸場			12
緊急救助用スペース			61
小 計			73
合 計			395